



## 2026年5月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年1月9日

上場会社名 日本エンタープライズ株式会社 上場取引所 東  
コード番号 4829 URL <https://www.nihon-e.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 植田勝典  
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 田中勝 TEL 03-5774-5730  
半期報告書提出予定日 2026年1月14日 配当支払開始予定日 一  
決算補足説明資料作成の有無：有  
決算説明会開催の有無：有（当社ウェブサイトにて、決算説明の動画配信予定）

（百万円未満切捨て）

### 1. 2026年5月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年6月1日～2025年11月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
2026年5月期中間期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年5月期中間期	2,189	1.6	12	3.8	31	16.1	3	—
	2,154	△2.2	12	△89.5	27	△79.2	△8	—

(注) 包括利益 2026年5月期中間期 93百万円 (−%) 2025年5月期中間期 △21百万円 (−%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
2026年5月期中間期	円 銭 0.08	円 銭 —
2025年5月期中間期	△0.21	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
2026年5月期中間期	百万円 5,566	百万円 4,868	% 84.5	円 銭 122.07
2025年5月期	5,591	4,896	84.7	122.87

(参考) 自己資本 2026年5月期中間期 4,703百万円 2025年5月期 4,734百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	1株当たり純資産
2025年5月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 3.00	円 銭 3.00	円 銭 122.07
2026年5月期	—	0.00	—	3.00	3.00	122.87
2026年5月期（予想）			—	3.00	3.00	

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2026年5月期の連結業績予想（2025年6月1日～2026年5月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
通期	百万円 5,330	% 20.0	百万円 240	% 253.9	百万円 250	% 179.7	百万円 155	% 614.5

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無  
新規 一社 (社名)、除外 一社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- |                      |    |
|----------------------|----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | ：無 |
| ② ①以外の会計方針の変更        | ：無 |
| ③ 会計上の見積りの変更         | ：無 |
| ④ 修正再表示              | ：無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年5月期中間期	38,534,900株	2025年5月期	38,534,900株
② 期末自己株式数		一株	2025年5月期	一株
③ 期中平均株式数（中間期）	2026年5月期中間期	38,534,900株	2025年5月期中間期	38,534,900株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 業績予想について

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信（添付資料）2ページ以降の「当中間期の経営成績の概況」をご覧ください。

2. 決算補足説明資料の入手方法

決算説明資料及び説明動画は、当社ウェブサイトに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当中間期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当中間期の財政状態の概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 中間連結貸借対照表 .....	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 .....	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(セグメント情報等の注記) .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善を背景に、緩やかな回復基調が継続しております。一方で、米国の関税政策の影響や国内における物価上昇による景気の下振れ懸念等により、先行きは依然不透明な状況となっております。

このような経済情勢の下、当社グループに関連するITサービス業界は、企業による競争力強化を目的とした生成AI等の新たなデジタル技術の積極的な導入や業務効率化及び生産性向上に向けたDX（注1）の推進を背景としたIT投資意欲が依然として高い水準を維持しており、堅調に推移しております。

これらの状況において、当社グループといったしましては、クリエーション事業（コンテンツサービス、ビジネスサポートサービス等）及びソリューション事業（システム開発サービス、業務支援サービス、その他サービス）を推進し、事業規模及び収益拡大に努めてまいりました。

各セグメントの経営成績は次のとおりであります。

#### <クリエーション事業>

自社で保有する権利や資産を活用したサービスを提供する当事業は、一般消費者向け「コンテンツサービス」においては、通信キャリア向け定額制コンテンツ等の減少により減収となりました。

法人向け「ビジネスサポートサービス」においては、キッティング支援が需要回復及びオーダーメイドツールの拡販により増加した他、交通情報、コミュニケーション、EC・ASPサービス等が伸長し増収となりました。

以上の結果、クリエーション事業の売上高は8億92百万円（前年同中間期比6.8%増）、セグメント利益は1億80百万円（同2.5%減）となりました。

#### <ソリューション事業>

法人向けシステムの受託開発・運用を主な業務とする当事業は、「システム開発サービス」においては、企業や社会におけるDX・CX（注2）の加速を背景に、AIやIoT（注3）等、様々な技術を組み合わせたシステム開発の需要が増大する中、これまでの豊富な実績が評価され、アプリ開発、WEB構築、サーバ構築、システム運用・監視、デベッガ、ユーザーサポート、販売促進等クリエーション事業で培ったノウハウを活かした受託開発等を推し進めたものの、復調途上のため減収となりました。

人手不足問題にマッチした「業務支援サービス」においては、開発領域を中心とした高度IT人材による上流工程の常駐型支援サービスの拡大により増収となりました。

また「その他サービス」においては、ガラスコーティング剤等の販売が伸長し増収となりました。

以上の結果、ソリューション事業の売上高は12億97百万円（前年同中間期比1.6%減）、セグメント利益は1億16百万円（同6.3%減）となりました。

#### <連結決算の概況>

当中間連結会計期間における売上高は21億89百万円（前年同中間期比1.6%増）、営業利益は12百万円（同3.8%増）、経常利益は31百万円（同16.1%増）、親会社株主に帰属する中間純利益は3百万円（前年同中間期は親会社株主に帰属する中間純損失8百万円）となりました。

売上高については、「システム開発サービス」「コンテンツサービス」が減少したものの、「業務支援サービス」「ビジネスサポートサービス」「その他サービス」の増加に伴い増収となりました。

営業利益・経常利益については、外注費等 売上原価が増加したものの、キッティング支援の復調による増収により増益となりました。親会社株主に帰属する中間純利益については、上記理由の他、法人税等の減少により増益となりました。

(注1) 「Digital Transformation」の略

「ITの浸透が人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させる」という概念

(注2) 「Customer Experience」の略

顧客が企業や製品と接する全ての段階で感じる総合的な体験

(注3) 「Internet of Things」の略

モノをインターネットに接続して制御・認識などを行う仕組み

## (2) 当中間期の財政状態の概況

### ①資産、負債及び純資産の状況

当中間連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して25百万円減少し、55億66百万円となりました。流動資産は、主に現金及び預金、売掛金及び契約資産の減少により前連結会計年度末と比較して1億6百万円減少し、46億4百万円となりました。固定資産においては、主に投資有価証券の増加により前連結会計年度末と比較して81百万円増加し、9億61百万円となりました。

負債につきましては、主に買掛金の減少、流動負債その他の減少、未払消費税等の増加、賞与引当金の増加及び契約負債の増加により前連結会計年度末と比較して3百万円増加し、6億98百万円となりました。

純資産につきましては、その他有価証券評価差額金の増加、親会社株主に帰属する中間純利益の計上及び剰余金の配当により前連結会計年度末と比較して28百万円減少し、48億68百万円となりました。

### ②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間におけるキャッシュ・フローの状況は以下のとおりです。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

税金等調整前中間純利益31百万円（前年同中間期比16.1%増）、減価償却費57百万円（同1.4%増）、売上債権の減少額72百万円（同66.4%増）及び未払消費税等の増加額20百万円（前年同中間期は20百万円の減少）等による資金の増加が、その他の流動負債の減少額26百万円（同56.5%増）及び法人税等の支払額15百万円（同72.0%減）等の資金の減少を上回ったことにより、当中間連結会計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは1億40百万円の資金の増加（前年同中間期は3百万円の増加）となりました。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

クリエーション事業に係るソフトウェア開発を中心に無形固定資産の取得による支出49百万円（同8.5%増）等による資金の減少により、当中間連結会計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは51百万円の資金の減少（同90.8%減）となりました。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

株主の皆様への利益還元といたしまして配当に1億16百万円（同0.9%増）を支出したことに加え、非支配株主への配当金の支払額7百万円（同12.8%増）等により、当中間連結会計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは1億25百万円の資金の減少（同6.1%減）となりました。

上記のとおり、当中間連結会計期間は営業活動で増加した資金を効果的な設備投資、株主の皆様への利益還元として配当に充当いたしました。当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物残高は、前連結会計年度末比36百万円減少し、37億87百万円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年5月期の連結業績予想につきましては、2025年7月11日公表の連結業績予想値に変更はありません。

引き続き、クリエーション事業（コンテンツサービスのバリュー向上とアライアンス強化、キッティング支援のサービス拡充や販路拡大等）、ソリューション事業（社会のDX推進に対応したシステム開発サービスや業務支援サービスにおける既存顧客への深耕と新規顧客獲得）に注力することで、增收増益を目指しております。

## 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年5月31日)	当中間連結会計期間 (2025年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流动資産		
現金及び預金	3,861,128	3,824,777
売掛金及び契約資産	751,249	678,420
商品	18,878	15,292
仕掛品	8,358	18,578
貯蔵品	165	203
未収入金	17,633	23,119
その他	54,347	44,844
貸倒引当金	△465	△465
流动資産合計	4,711,295	4,604,772
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	25,599	23,786
機械及び装置（純額）	190,164	180,579
土地	12,400	12,400
その他（純額）	21,165	17,990
有形固定資産合計	249,329	234,756
無形固定資産		
ソフトウエア	229,913	237,860
その他	5,438	5,035
無形固定資産合計	235,352	242,895
投資その他の資産		
投資有価証券	279,940	361,385
差入保証金	82,308	81,119
繰延税金資産	31,102	39,256
破産更生債権等	742	742
貸倒引当金	△742	△742
その他	2,120	2,120
投資その他の資産合計	395,471	483,881
固定資産合計	880,153	961,533
資産合計	5,591,448	5,566,306

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年5月31日)	当中間連結会計期間 (2025年11月30日)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
買掛金	195,808	186,103
未払法人税等	31,385	36,383
未払消費税等	28,035	48,133
契約負債	42,179	77,539
賞与引当金	—	16,907
その他	311,075	248,839
<b>流動負債合計</b>	<b>608,485</b>	<b>613,907</b>
<b>固定負債</b>		
退職給付に係る負債	59,284	59,773
その他	26,890	24,407
<b>固定負債合計</b>	<b>86,174</b>	<b>84,180</b>
<b>負債合計</b>	<b>694,660</b>	<b>698,088</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	1,108,338	1,108,338
資本剰余金	984,894	984,894
利益剰余金	2,730,355	2,618,017
<b>株主資本合計</b>	<b>4,823,588</b>	<b>4,711,250</b>
<b>その他の包括利益累計額</b>		
その他有価証券評価差額金	△88,913	△7,468
<b>その他の包括利益累計額合計</b>	<b>△88,913</b>	<b>△7,468</b>
<b>新株予約権</b>	<b>3,448</b>	<b>4,039</b>
<b>非支配株主持分</b>	<b>158,665</b>	<b>160,396</b>
<b>純資産合計</b>	<b>4,896,788</b>	<b>4,868,217</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>5,591,448</b>	<b>5,566,306</b>

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書  
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年6月1日 至 2024年11月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年6月1日 至 2025年11月30日)
売上高	2,154,448	2,189,902
売上原価	1,385,896	1,428,510
売上総利益	768,551	761,391
販売費及び一般管理費	756,058	748,416
営業利益	12,493	12,974
営業外収益		
受取利息	436	3,650
受取配当金	5,882	10,237
補助金収入	6,653	2,923
受取賃貸料	666	666
業務受託手数料	480	480
為替差益	—	300
その他	1,855	664
営業外収益合計	15,972	18,921
営業外費用		
支払利息	876	—
支払手数料	213	213
為替差損	89	—
その他	22	22
営業外費用合計	1,201	235
経常利益	27,264	31,660
税金等調整前中間純利益	27,264	31,660
法人税、住民税及び事業税	26,743	27,567
法人税等調整額	97	△8,153
法人税等合計	26,841	19,413
中間純利益	423	12,246
非支配株主に帰属する中間純利益	8,675	8,980
親会社株主に帰属する中間純利益又は親会社株主に 帰属する中間純損失(△)	△8,251	3,266

## (中間連結包括利益計算書)

(単位 : 千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年6月1日 至 2024年11月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年6月1日 至 2025年11月30日)
中間純利益	423	12,246
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△21,562	81,445
その他の包括利益合計	△21,562	81,445
中間包括利益	△21,138	93,691
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	△29,814	84,711
非支配株主に係る中間包括利益	8,675	8,980

## (3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年6月1日 至 2024年11月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年6月1日 至 2025年11月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間純利益	27,264	31,660
減価償却費	56,672	57,473
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	705	489
受取利息及び受取配当金	△6,318	△13,887
支払利息	876	—
為替差損益(△は益)	89	△300
売上債権の増減額(△は増加)	43,754	72,828
棚卸資産の増減額(△は増加)	△6,342	△6,673
仕入債務の増減額(△は減少)	△38,209	△9,704
未払又は未収消費税等の増減額	△20,936	20,873
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△9,299	△4,746
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△16,662	△26,075
その他	22,250	20,196
小計	53,845	142,134
利息及び配当金の受取額	6,318	13,887
利息の支払額	△876	—
法人税等の支払額	△55,786	△15,644
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>3,500</b>	<b>140,377</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△26,790	△26,790
定期預金の払戻による収入	25,690	26,790
有形固定資産の取得による支出	—	△2,346
無形固定資産の取得による支出	△46,035	△49,958
投資有価証券の取得による支出	△503,692	△0
貸付金の回収による収入	164	168
差入保証金の差入による支出	△5,929	—
差入保証金の回収による収入	—	900
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△556,594</b>	<b>△51,236</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△9,790	—
リース債務の返済による支出	△2,505	△2,277
配当金の支払額	△115,212	△116,265
非支配株主への配当金の支払額	△6,427	△7,248
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△133,935</b>	<b>△125,791</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	△89	300
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△687,118	△36,350
現金及び現金同等物の期首残高	4,388,871	3,824,338
現金及び現金同等物の中間期末残高	3,701,753	3,787,987

## (4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2024年6月1日 至 2024年11月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)	中間連結 損益計算書 計上額 (注)
	クリエーション 事業	ソリューション 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	835,696	1,318,751	2,154,448	—	2,154,448
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	5,727	5,727	△5,727	—
計	835,696	1,324,479	2,160,175	△5,727	2,154,448
セグメント利益	185,109	124,353	309,462	△296,968	12,493

(注) セグメント利益の調整額の主なものは、各事業セグメントに帰属しない管理部門等の一般管理費△296,968千円であります。

セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当中間連結会計期間(自 2025年6月1日 至 2025年11月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)	中間連結 損益計算書 計上額 (注)
	クリエーション 事業	ソリューション 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	892,380	1,297,522	2,189,902	—	2,189,902
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	4,781	4,781	△4,781	—
計	892,380	1,302,303	2,194,683	△4,781	2,189,902
セグメント利益	180,443	116,504	296,947	△283,972	12,974

(注) セグメント利益の調整額の主なものは、各事業セグメントに帰属しない管理部門等の一般管理費△283,972千円であります。

セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。